

# ITSUKUSHIMA KANGETSUNOH

Photo / Kenichi Hanada



「葵上」喜多流 シテ 友枝昭世

## 自然のなかで 躍動する 能のエネルギー

10月某日、厳島観月能が始まる数時間前の浜辺。夕陽を浴びながら、4人家族が静かに海を眺めていた。東京から来たという。「この公演だけは寝たことがないって友人が言うから」とお母さんが笑う。一度はお能を観てみたいと思っていた。

やがて辺りが暗闇に包まれ、能の始まりとともに、潮が海に浮かぶ能舞台を包んでいく。ちゃぶちゃぶ。不規則な波の揺らめきに、般若の目が光る。鋭い囃子、力強い掛け声が、空に抜けていく。見上げれば冴えわたる月。静かに

激しく能が満ちていく。「自然の中だと、演者のエネルギーが大きく広がっていく感じがすごい！」終演後、名古屋からの女性は、ここなら何度でも来たいと、興奮気味に語ってくれた。もともと能は何百年も野外で上

演されてきた。光、風、雨、雲、山の色、虫の音。いつも絶え間なく変化する演出があり、各時代の役者は、その中で能をいかに魅せるか腐心してきたはずだ。旅先で自然を感じながら、能に出会う。そんな時間もいいかもしれない。



## 厳島観月能

言わずと知れた世界遺産・厳島神社には、日本で唯一海中に建てられている能舞台があり、厳島観月能は、毎年10月頃開催されている。4月には桃花祭御神能で能・狂言の奉納も。こうした野外能や薪能は春から秋にかけて全国で開催されているので、お住まいの地域で、旅先で、ぜひ探してみてください。(SANZUIのHP参照)  
<http://www.cpra.jp/sanzui/>